

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会創立三十周年記念

第十回

田島祇園祭

屋台歌舞伎
特別舞台公演

〔演目〕

第一部 時津風日の出松 〱 鳴山城内の段 〱

出演 田島小学校三年生 しやんぎり演奏 出演 田島しやんぎり保存会

第二部 仮名手本忠臣蔵 三段目 〱 足利館松の廊下刃傷の場 〱

出演 田島祇園祭屋台歌舞伎保存会

第三部 南山義民の碑 〱 田島小川屋の場 〱

出演 田島祇園祭屋台歌舞伎保存会



令和4年 12月4日

〔開場〕 13:00

〔開演〕 13:30

〔会場〕 御蔵入交流館南会津町文化ホール

入場無料

新型コロナウイルス
感染症対策にご協力
をお願いします。

- 平熱と比べて高い体温や、体調に異変を感じる場合は、ご来場をお控えください。
- マスクを必ず着用してください。
- 会場に設置してある消毒液で手指消毒をお願いします。

- 保健所など公的機関へお客様情報を提供する場合がありますので、当日、用紙にお名前・ご住所・連絡先電話番号・座席番号をご記入のうえ、ご退場時に受付へご提出ください。
- 途中、休憩時間に会場の換気を行います。

【主催・問合せ】田島祇園祭屋台歌舞伎保存会 TEL.0241-62-6311

第十回 田島祇園祭 舞台歌舞伎特別舞台公演

第一部

時津風日の出松

鳴山城内の段

原作：馬場翠園 脚本補綴：鈴木昭司
演出：振付：花柳貴答 節付補綴：鶴澤弥吉
出演：田島小学校三年生

田島地区にある中世の山城「鳴山城」が舞台です。天正年間、城主の長沼盛秀は「摺上原の合戦」で伊達家の宿敵である蘆名家に味方したため、伊達家の軍勢に攻めこまれます。伊達家の家臣である片倉小十郎景綱は、和睦を勧めますが強気の長沼盛秀は戦に逸りません。長沼家の諸士頭



第二部

仮名手本忠臣蔵三段目

足利館松の廊下刃傷の場

出演：田島祇園祭舞台歌舞伎保存会

鶴ヶ岡八幡宮で、桃井若狭之助は執権・高師直と意見を対立させ、怒りをおかしてしまいます。そこへ現れた塩谷判官の妻・顔世御前。高師直は以前から顔世御前に横恋慕し、セクハラまがいに言い寄ります。若狭之助の機転により、顔世はその場を逃れますが、怒った師直は若狭之助を罵倒します。師直への怒りが収まらない主人を見て危険を感じた桃井家老・加古川本蔵は師直に賄賂を贈ります。それを知らずに師直へ怒りをぶつける若狭之助。

一方、師直は態度を二変させ、若狭之助の機嫌を取りだします。若狭之助の去った後、師直の怒りの矛先は塩谷判官に移ります。そこへ、顔世から師直へ誘いを断る意味を込めた和歌が届きます。師直は腹を立て、判官をネチネチといびり始めます。事の次第を、何も知らない判官は、あまりの悪口憎言に堪えかねて刀を抜こうとします。殿中で刀を抜けば死罪の上、お家取り潰しだと師直に脅され何度も思いとどまりますが…

第三部

南山義民の碑

田島小川屋の場

原作：馬場翠園 脚本補綴：鈴木昭司
演出：振付：花柳貴答 節付補綴：鶴澤弥吉
出演：田島祇園祭舞台歌舞伎保存会

享保五年に起こった南山御蔵入騒動と呼ばれた大百姓二揆を題材とした作品です。「南山義民の碑」の大詰めとなります。

江戸の奉行所へ年貢の金納や江戸廻米の廃止を嘆願直訴しに行った喜四郎が、田島の旅籠「小川屋」へ戻ってきました。長引く江戸滞在に金が底をつき、調達するため

《義民たちの処刑が行われた享保七年（七二二年）から今年でちょうど三〇〇年が経ちます。》